

2024年11月26日

報道関係各位

株式会社 JBP ジャパンブルーカーボンプロジェクト

**株式会社 JBP が房州ガス株式会社と千葉県館山市で
株式会社大木工藝の OK ハイブリッド炭漁礁を使った
世界初の藻場再生の実証実験を開始**

株式会社 JBP ジャパンブルーカーボンプロジェクト（代表取締役 吉川 京二、以下 JBP）は房州ガス株式会社（千葉県館山市 代表取締役 本間 充）とともに、千葉県館山市波左間漁業協同組合の協力を得て、廃棄プラスチックの炭化技術にも定評のある株式会社大木工藝（代表取締役 大木武彦、以下大木工藝）の OK ハイブリッド炭漁礁「TRICLE（トリクル）」を用いた世界初の藻場再生の実証実験プロジェクトを開始します。TRICLE は本年度の内閣府国土強靱化推進室主催のレジリエンスアワードにて最優秀賞を受賞しております。

JBP は先月大木工藝と、OK ハイブリッド炭と鉄鋼スラグを合わせることで生成した OK ハイブリッド炭漁礁「TRICLE（トリクル）」を藻場再生に活用するための業務提携を発表しましたが、この度千葉県館山市波左間漁業協同組合の漁港内の海域約 2,000 m²で、2024 年 11 月から最長 5 年間の期間で、藻場再生活動を実施します。

今冬は 30 cm の三角錐の「TRICLE（トリクル）」を 総数 約 200 個投入、また来春には 1 m の三角錐大型トリクルを投入する予定です。

この藻場再生の実証実験により、海藻類の養生を復活させ、魚類、甲殻類等を始めとした生物多様性を高め、豊かな海を取り戻したいと考えています。

また、波左間漁業協同組合は、従来盛んだったアワビ、サザエ漁を主とした採貝藻漁業の復活を願っています。

JBP は、館山市以外にも 2022 年より鉏路西港にて、天然コンブ漁で行われている雑海藻駆除の手法等を使ったブルーカーボンの実証実験を、2023 年に同じく鉏路西港にてパートナー企業で地元企業の鉏路ガスと「昆布の森づくり」を発表し、今冬から「鉏路ガス昆布の森づくり」を開始するなど今後各地で藻場再生活動の拡大を計画中です。

問合せ先 株式会社 JBP ジャパンブルーカーボンプロジェクト
担当 加唐（かから）
連絡先 090-9816-7116 m57116tk@gmail.com

以上

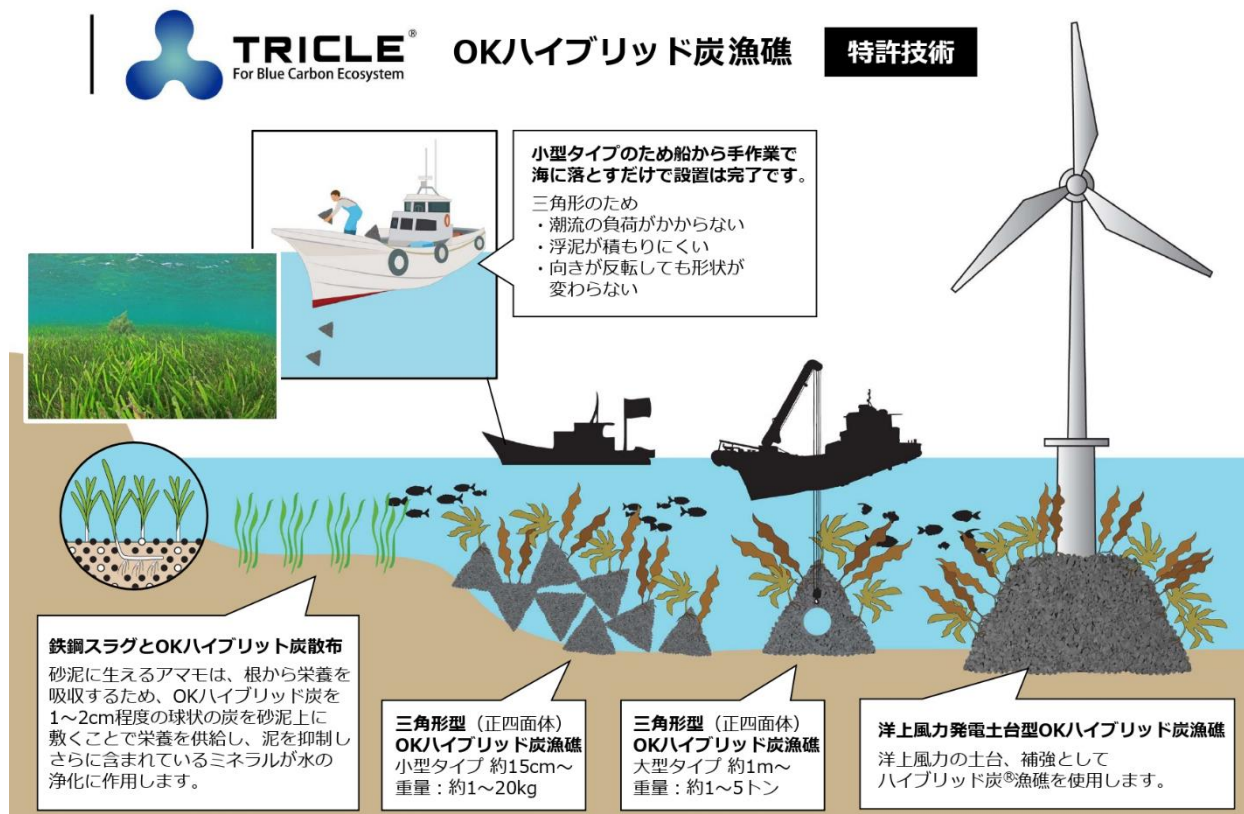
<プロジェクト概要>

<メンバー>

波左間漁業協同組合
房州ガス株式会社
株式会社大木工藝
株式会社 JBP

<主な役割>

海域利用調整、漁礁の投下作業、種海藻の調達 等
当該プロジェクトの資金提供、人的サポート等
商品 (OK ハイブリッド炭漁礁「TRICLE (トリクル)」) 提供
当該プロジェクトの企画立案と計画・運営管理等



<今冬実際に投入する OK ハイブリッド炭漁礁「TRICLE (トリクル)」>



30 cmの三角錐

OK ハイブリッド炭+鉄鋼スラグ+セメント